

# 白馬北小谷 雨飾山 P2 往復(南尾根経由) 山スキー報告書

日 時 2020(令和2年)3月21(土) 晴れ 前夜発

メンバー 和佐・青松・中村

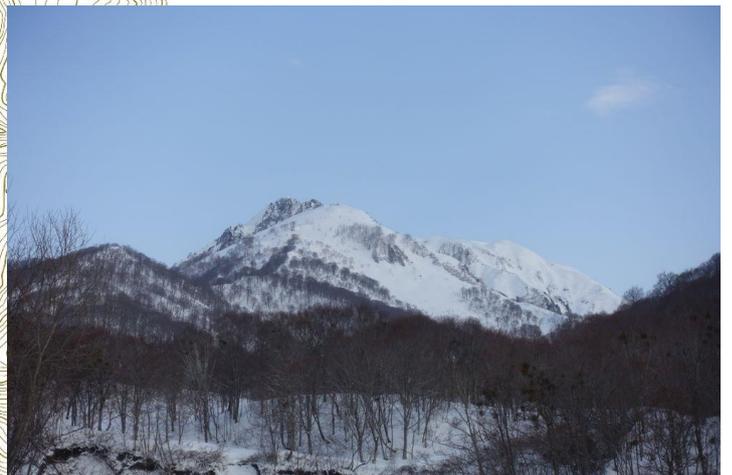
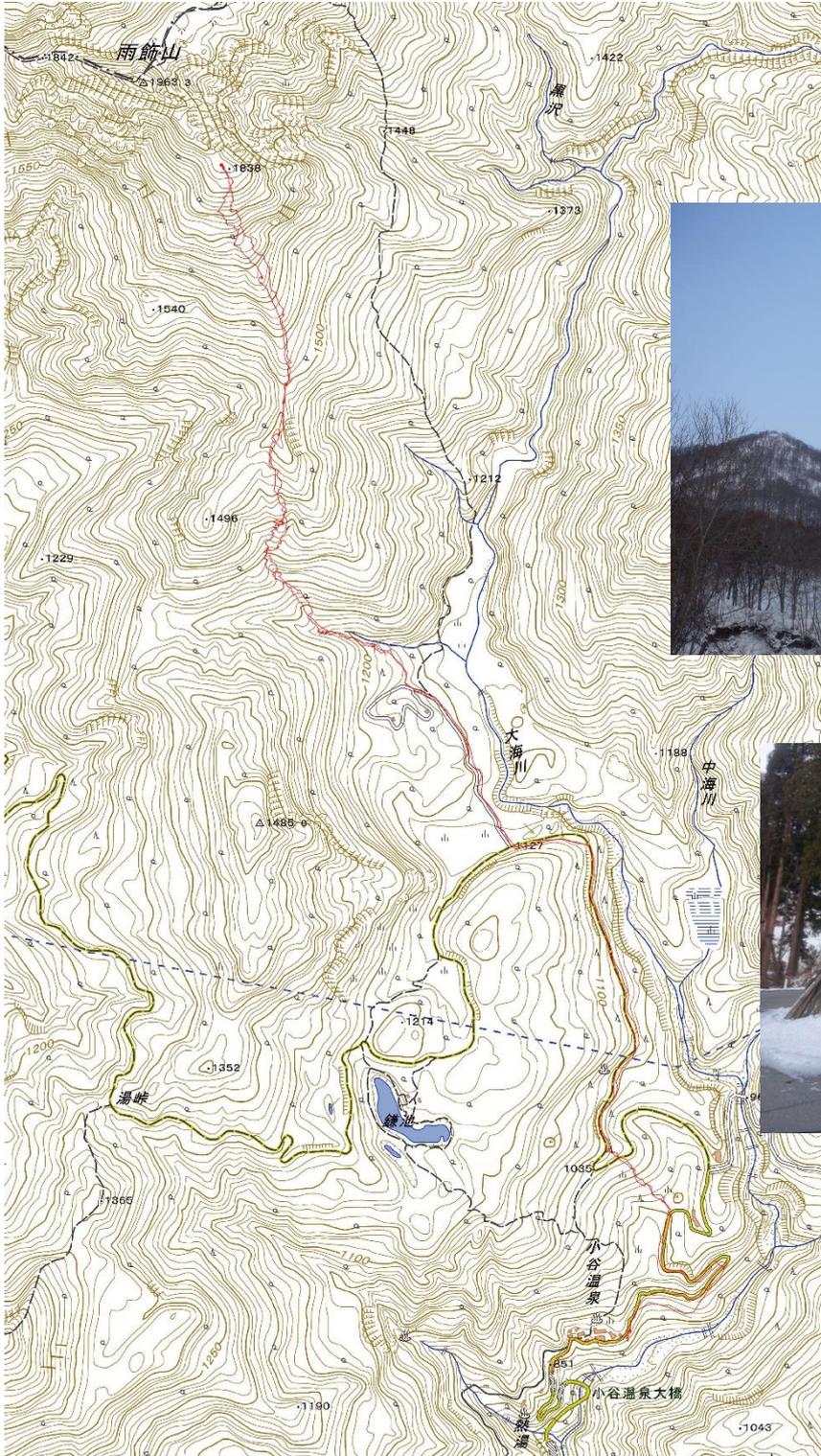
行 程 道の駅小谷にて仮眠後、小谷温泉ゲート(865m) 6:30 発

雨飾高原キャンプ場(1150m)→1510m ピーク→雨飾山 P2(1838m)

11:00 滑降開始→P1510m→雨飾高原キャンプ場→ゲート 1300 着



(1838m)から見た雨飾山 P1(1963m)



登行中の林道より望む雨飾山



山田温泉前の車止めゲート前で  
シール発行準備

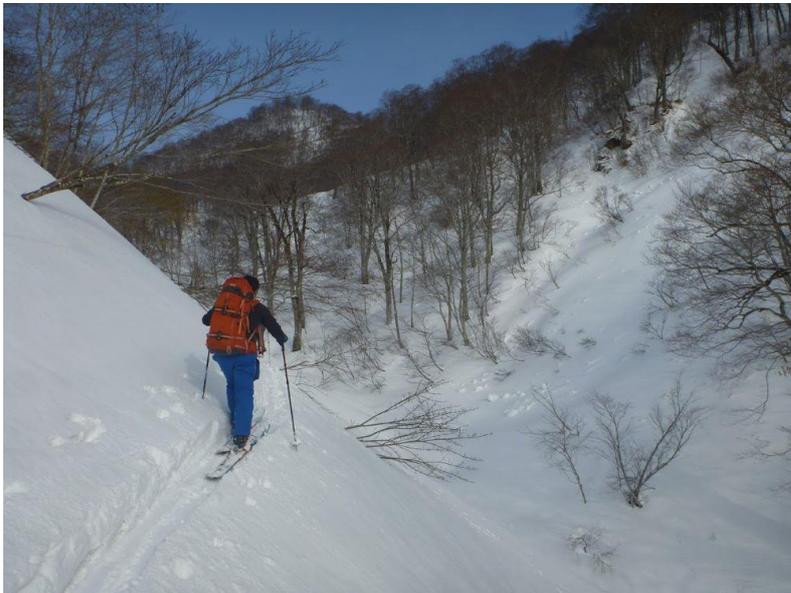




林道をショートカットしながらキャンプ場を目指す



キャンプ場施設の積雪量はこの程度  
(たぶん例年同時期より少ないのでは)

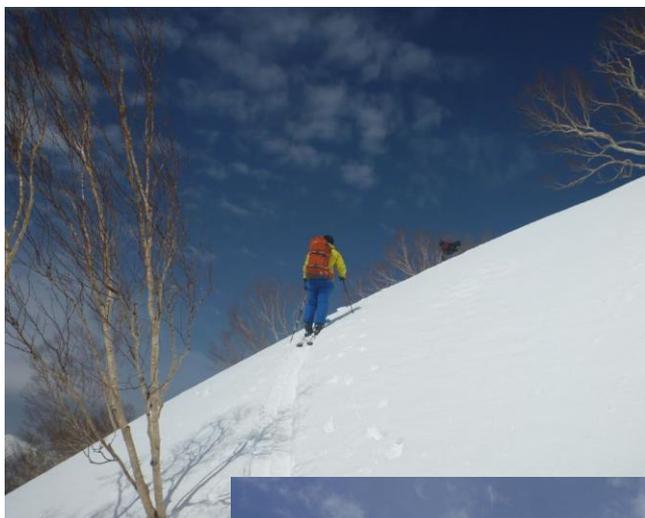


キャンプ場からは  
沢地形をたどって  
1510m ピークを目指し  
南尾根に上がる

1510m ピークからは  
山頂に向かって  
少しコルまで下る  
(コルから 1510m ピーク  
を撮影)



P2 まであと少し  
固い斜面を登る  
(クトー装着)

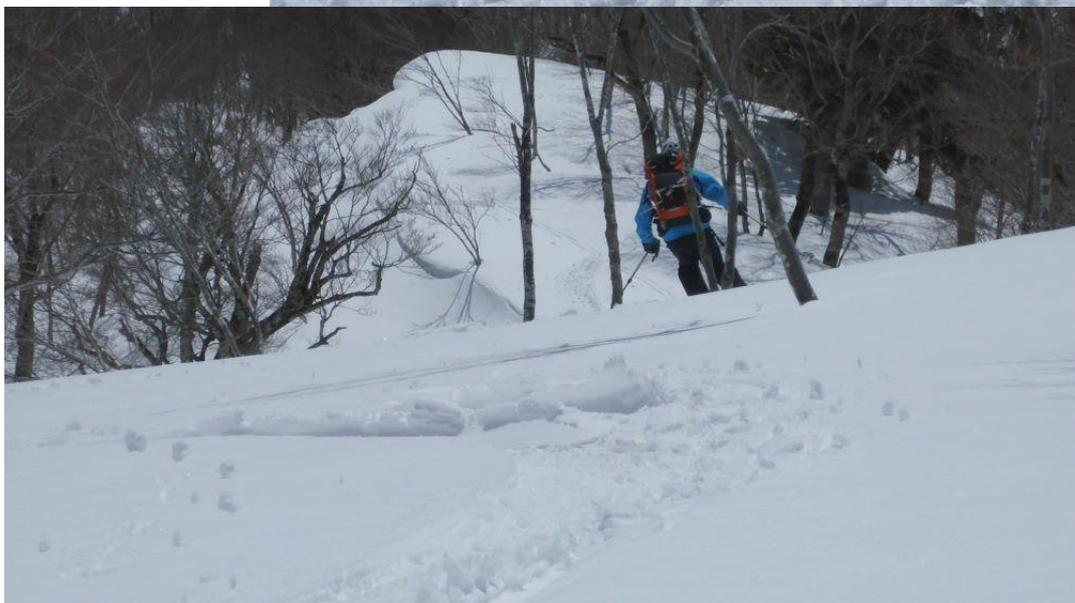
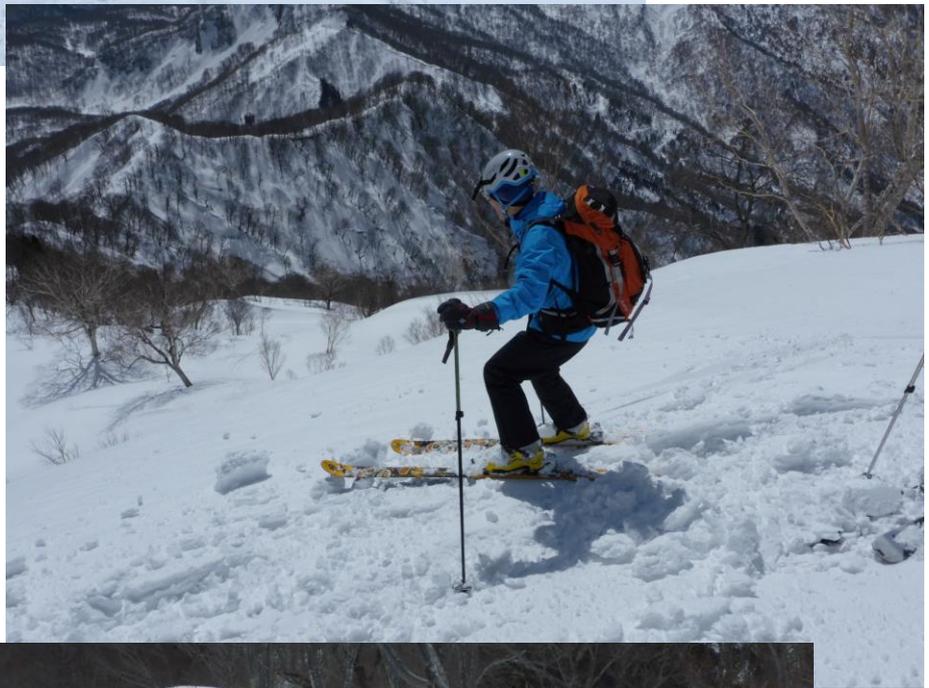
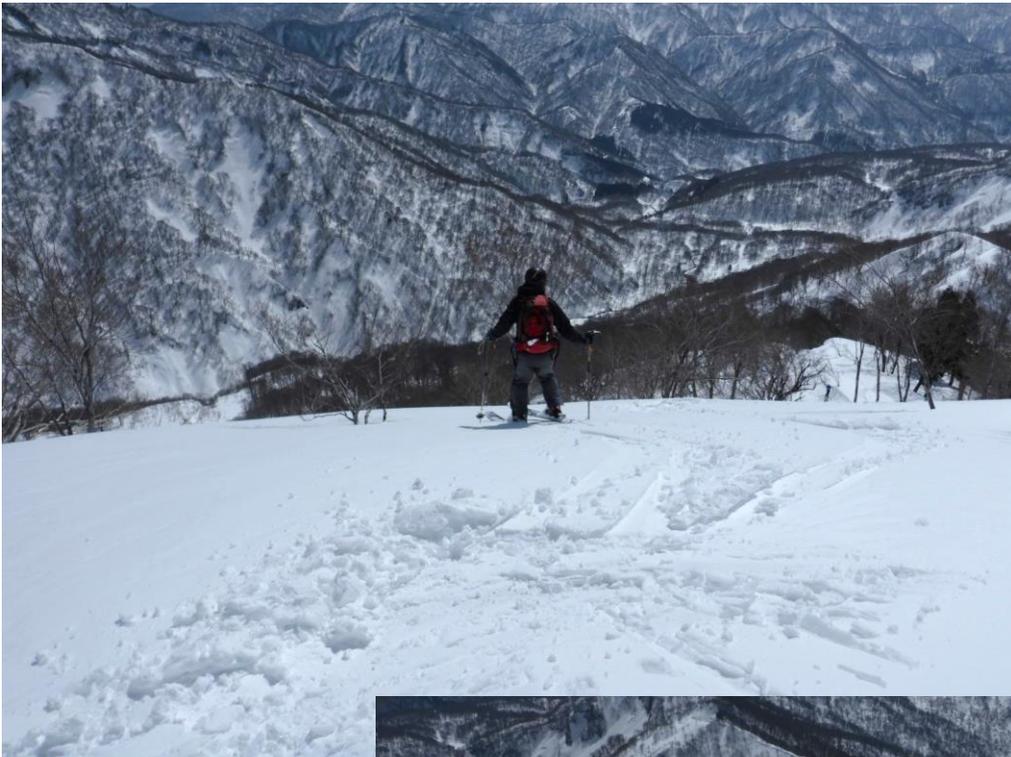


P 2 到着



雨飾山山頂 P2 より P1 を望む 滑降準備中 稜線西側は強風であるも、東側とそれほど風がない



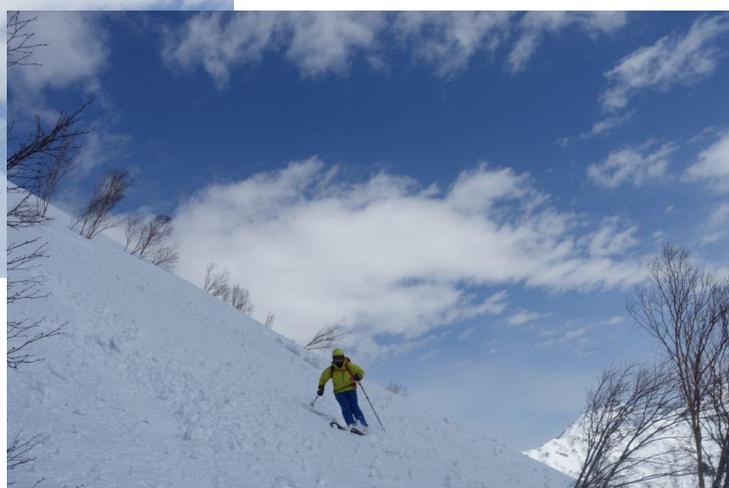




1510mピークまでの  
雪質はまあまあ上等  
という感じだったが  
それより下部はとんでもない  
生コン状態の雪質で  
林道の下降は  
超ストップスノーで  
たいへん難儀した。



中村は、1510mピークの登り返しの  
際、両足内ももの筋肉がつり、身動きが取れ  
なくなり、30分間近くも他のメンバーを待  
たせることになってしまった。その後も全  
員、悪雪に苦戦しながらなんとか下山。



(おまけの話)

当初、3月の3連休(2020.3.20-22)に白馬大池経由で蓮華温泉ベースに雪倉岳に行こうと計画していましたが、今シーズンは異常な雪不足により蓮華温泉ロッジの春スキー営業が中止の発表が2月にあり、さらに、瀬戸川のスノーブリッジもないだろうということで雪倉岳をあきらめました。そこで、テント泊により、となりの朝日岳往復と帰路に金山沢を滑降するとの計画を直前までしていました。しかし、三連休初日が前線通過による強風、さらに最終日は降雨が予想されたため、日帰り山行に変更したものです(予報どおりの天候となりました。)。今後のリベンジを込めて、当初計画のルートを添付します。

